

鹿島市公共下水道
鹿島市浄化センター



鹿島市汚水マンホール

<下水道の微生物>



ロタリア

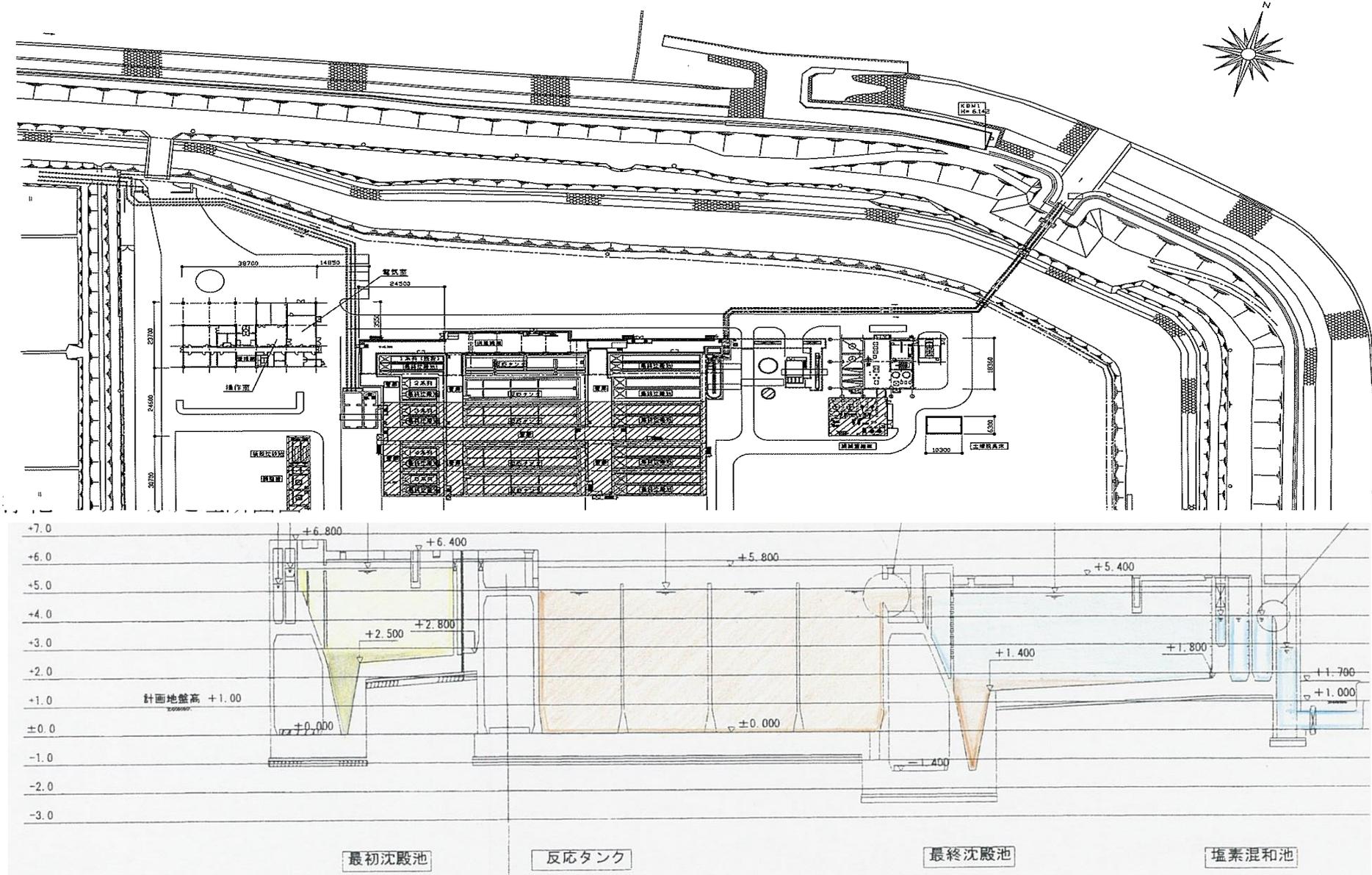


アルセラ



ボルティセラ

浄化センター全体図

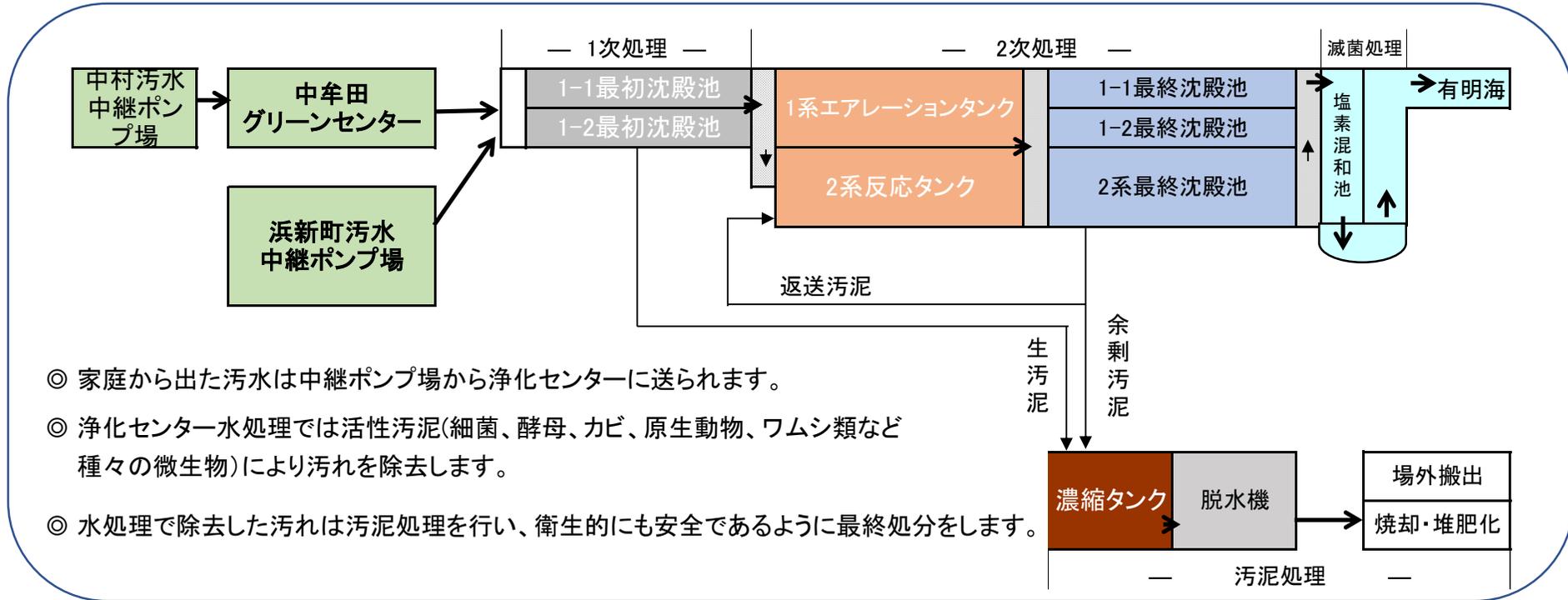


中継ポンプ場(ちゅうけいぼんぷじょう)

鹿島市浄化センター

排除方式: 雨水と汚水を別々の管きよで排除する分流式

処理方式: 標準活性汚泥法



- ◎ 家庭から出た汚水は中継ポンプ場から浄化センターに送られます。
- ◎ 浄化センター水処理では活性汚泥(細菌、酵母、カビ、原生動物、ワムシ類など種々の微生物)により汚れを除去します。
- ◎ 水処理で除去した汚れは汚泥処理を行い、衛生的にも安全であるように最終処分をします。

最初沈殿池

砂や沈みやすいゴミなどを重力により沈殿除去します

反応タンク

活性汚泥(細菌及び微生物の集合体)で下水中の汚れを吸着分解し沈みやすい汚泥に変えます

最終沈殿池

活性汚泥を重力により沈殿分離して清澄な水を得ます

塩素混和池

固形塩素(次亜塩素酸カルシウム)で水中の微生物を滅菌して放流します

濃縮タンク

生汚泥や余剰汚泥を重力により沈殿濃縮します

脱水機

濃縮汚泥に薬品を加えた汚泥に圧力をかけて脱水します

中央監視室

中央監視室は

機器の運転状況、水処理・汚泥処理の監視と操作をするところ。

* 24時間常時監視体制のため必ず1人運転状況を監視。

浄化センター パソコン・監視操作盤にて監視



中村汚水中継ポンプ場
遠方監視盤で監視



中牟田グリーン
センター
遠方監視盤で監視

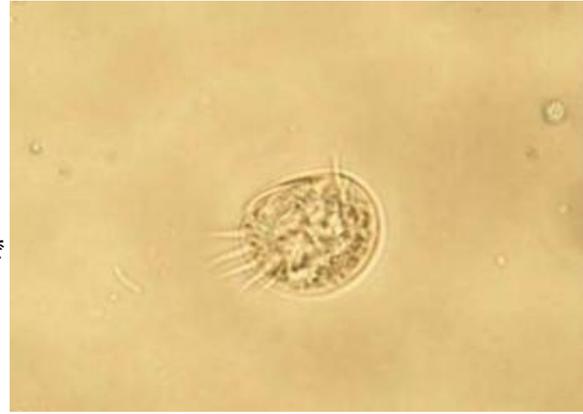


浜新町汚水中継ポンプ場
パソコンでWeb監視



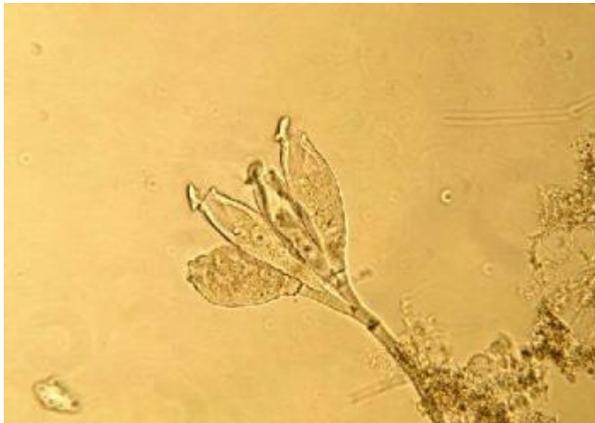
ボルティセラ

大きさ50～150マイクロメートル
とくちょう
別名「ツリガネムシ」とも言い、
長い柄で伸びたり縮んだりする
様子が観察できます。頂部の口で
小さな細菌類を食べています。
処理の状態が良いときによく出現
します。



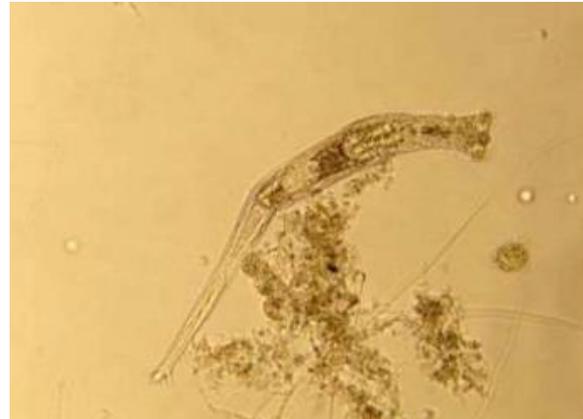
アスピディスカ

大きさ30～60マイクロメートル
とくちょう
体の前と後ろに生えたとげのよう
な毛を使い、活発に動き回ります。
下水の処理状態が良いときによく
出現しますが、環境の変化に敏
感で、すぐに数が増えたり減った
りします。



オペルクラリア

大きさ30～250マイクロメートル
とくちょう
たくさんの群れを作り、口の先
からもう一つ小さな口が出ている
のが特徴です。処理状態が良い
ときによく出現します。処理状
態が良いときによく出現します。



ロタリア

大きさ300～500マイクロメートル
とくちょう
別名「ヒルガタワムシ」とも言い、
大型の微生物で、伸びたりちぢ
んだりする様子が観察されます。
流入する下水の濃度が比較的
うすく、水中の酸素が多いときに
出現します。



トコフィリア

大きさ45～70マイクロメートル
とくちょう
西洋梨形をしており、体の2また
は4ヶ所からストロー状の吸管が
出ています。吸管を使って微生
物をつかまえます。処理が良い
ときから、活性汚泥が分散傾向
にあるときに出現します。



レパデラ

大きさ110～190マイクロメートル
とくちょう
別名「ウサギワムシ」とも言い、
2本のあしゆびがあり、汚泥の
周りをゆっくり移動します。流入
する下水の濃度が比較的うす
いときに出現します。